



明るい社会の実現をめざして

7月1日、社会を明るくする運動街頭キャンペーンが北本駅東口、西口にて行われ、保護司会と更生保護女性会の皆さんが、犯罪や非行のない明るい社会の実現を呼びかけました。また、7月10日・11日には市広報車にて青少年を非行から守るため、市内を巡回しました。



青少年を非行から守るために

7月3日、北本駅周辺で青少年非行防止街頭キャンペーンが行われ、市内34の青少年関係団体の皆さんが協力して、青少年の非行防止およびメディア利用による被害防止に関するリーフレットやグッズを市民の皆さんに手渡しました。



感謝状を贈呈

7月1日に北本市感謝状贈呈式を行い、自治会パトロール隊としてご尽力いただいた人、本市にふるさと納税としてご寄付をいただいた人、長年市内小・中学校で勤務された人、本市介護認定審議会委員としてご尽力いただいた人に感謝状を贈りました。



東間と荒井の浅間神社で初山参り

6月30日と7月1日の2日間、市内2か所の浅間神社で初山行事が行われました。当日は子どもの成長を願い、境内の富士塚に登る多くの参拝客でにぎわいました。このとき額に朱印を押された赤ちゃんは、初めて富士山に登山したとされ、そのご利益が授かるといひます。

市長のほっと・とーく
北本ピアノコンクール

「右脳」は左半身を支配し、「直感や「ひらめき」を担当、「左脳」は右半身を支配し、「論理」や「言語」を担当しているそうです。ひとつ「右脳人間」「左脳人間」という言葉がはやりましたが、自分や身近な人がどちらのタイプかを理解して付き合つと、人間関係も円滑にいくかもしれません。また、特に「右脳」の刺激は重要で、左利きは直してはいけないという説もあります。この両方の脳を鍛えるのに格好な楽器がピアノです。両手がバラバラに動き、右脳、左脳ともに刺激を受けます。考えただけでも脳が活性化しそうです。私はもっぱら演奏を聴くだけです。小さい子どもから六十の手習いまで、多くの人がピアノに親しめる環境が整うといいなと思います。

北本ピアノコンクールは今年で第10回を迎え、これまでに全国から3,047名の方が参加してくださいました。最優秀賞を受賞し、副賞である東京フィルハーモニー交響楽団とのコンチエルトを弾いた方の中には、その後世界で活躍されている方もいらっしゃいますし、審査員や参加者のレベル等、自治体主催のコンクールでは全国有数との評価をいただくまでになりました。

今年のコンクールでは、新たに連弾部門を創設しました。また、10周年を記念し、歴代最優秀受賞者による記念コンサートを計画しています。今月から各部門の予選が始まりますので、ぜひ一度ご覧ください。



北本市長 石津 賢治